

第六十四回帝國議會議院

造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案外二件委員會會議錄(速記)第五回

會議

昭和八年二月七日(火曜日)午前十一時五分
開議

出席委員左ノ如シ

委員長 金光 庸夫君

理事木暮武太夫君 理事堀川 美哉君

理事鷺野米太郎君 理事池田 敬八君

理事矢野庄太郎君 理事中川 觀秀君

鈴木 英雄君 兼田 秀雄君

壽原英太郎君 武田德三郎君

青田 勝晴君 豐田 收君

水久保甚作君 高見 之通君

沖島 謙三君 櫻井兵五郎君

鶴澤 宇八君 內藤 正剛君

中村三之丞君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 高橋 是清君

拓務大臣 永井柳太郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏參與官 上塚 司君

大藏省主計局長 藤井 眞信君

大藏書記官 荒川 昌二君

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

樺太廳長官 今村 武志君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)

昭和八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

大阪帝國大學工學部設置ニ付帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

樺太事業公債法中改正法律案(政府提出)

地租ノ免除ニ關スル法律案(安達謙藏君外一名提出)

間接國稅犯則者處分法中改正法律案(安達謙藏君外一名提出)

達謙藏君外一名提出)

○金光委員長 是ヨリ開會致シマス、本日

ハ付託ニナツテ居リマス各案ヲ、全部議題ニ

供シタイト思ヒマス、一應念ノ爲メ朗讀致

シマス、造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營

費ニ關スル法律案、昭和八年度一般會計歲

出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律

案、大阪帝國大學工學部設置ニ付帝國大學

特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關ス

ル法律案、朝鮮事業公債法中改正法律案、

樺太事業公債法中改正法律案、地租ノ免除

ニ關スル法律案、間接國稅犯則者處分法中

改正法律案之ヲ一括議題ニ供シマシテ、本

日ハ大藏大臣、拓務大臣ノ御出席ガゴザイ

マスカラ、兩大臣ニ先ヅ御質疑ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス、通告順ニ依リマシテ質問ヲ許

シマス——高見君

○高見委員 私ハ拓務大臣ニ後ニ御願シマ

シテ、大藏大臣ダケニ極ク簡單ニ要領ダケ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)

昭和八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

大阪帝國大學工學部設置ニ付帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

樺太事業公債法中改正法律案(政府提出)

地租ノ免除ニ關スル法律案(安達謙藏君外一名提出)

間接國稅犯則者處分法中改正法律案(安達謙藏君外一名提出)

ヲ御尋致シマス、別ニ議論ヲ申上ゲル積リ

ハナイノデアリマス、相當ニ質疑應答ガ各

方面ニ出テ居リマスルガ、一寸御聽キヲシ

タイト思フノハ、此間カラ大藏大臣ハ昭和

十年度ニナルト餘程財政ノ根據モ出來、辻

褓ガ合フヤウニ仰シヤツテ居リマスガ、ソレ

ニ對シテハ何カ財政上斯ウ云フ順序ニナッ

テ、斯ウナルト云フヤウナ、大體ノ根據ハ

ドウ云フモノデアラウカ、若モ昭和八年度

ハ斯ウデセウガ、昭和九年度ニナレバ斯ウ

云フ狀態ニナルト思フ、昭和十年度ニハ斯

ウナルト云フヤウナ、何カ特別ノ材料及根

據ガゴザイマシタナラバ、一ツ其根據ナリ

材料ナリヲ御示シテ願ヒタイ、是ガ先ヅ私

ノ御尋スル第一點デアリマス、大變人ガ皆

其事ヲ實ハ心配シテ居リヤウデアリマスカ

ラ、此心配ヲ解クヤウナ材料ト云フヤウナ

モノガアリマシタナラバ、即チ根據ト云フ

モノガアリマシタナラバ、御示シテ願ヒタ

イト思フノデアリマス、ソレカラ昭和十年度位ニナルト、餘程收入ガ増スカノ如ク御考ニナッテ居ルカモ知レヌケレドモ、必シモサウナラヌカモ知レヌ、サウ致シマス、相當何カ財政ガ一般ニ殖エルヤウナ方法ガナケレバナラス、ソレニ付テ先ヅ歳出ノ方面デ、斯ウ云フ工合ニシテ整備ラシテ歳出ヲ減ジテ行ク、斯ウ云フヤウナ工合ニスレバ大體幾ラカ歳出ガ減ゼラレル、行政整理デモ何デモ宜シイ、斯ウ云フ工合ニシテヤルト云フヤウナ、何カ歳出ノ方面デ御整理ノヤウナ考ガ御立チニナッテ居ルカドウカ、ソレカラ收入ノ方面デアリマスガ、收入ノ中デ一般國民ヲ經濟上緩カニサセルト云フコトニ付キマシテハ、海外ニ貿易ヲ増進スルト云フコトガ必要デアル、ソレガ私ノ御尋シタイ點デアリマスガ、貿易増進策ト云フコトニ付テ、諸方ヲ旅行ナドヲ致シマスト色々ナ注文ヲ承ッテ、斯ウ云フ設備モ必要デアル、ア、云フ設備モ必要デアルト云フコトヲ、色々聽イテ居ルノデアリマス、且ツ中央亞細亞ナリ、阿弗利加ナリ、印度ナリ、南洋ナリノ方面ニ於テ貿易ヲ發展スル必要ガアル、何カ斯ウ云フコトニ關シテモ、特殊ノ御計畫ト云フヤウナモノガ、御立チニナッテ居ルヤウナコトガアルカドウカト云

フコトヲ、伺ヒタイノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ軍部當局ニモ聽キマシタガ、軍部當局ナドモハッキリシタコトハ今御話ニナラスガ、何デモ昨年増稅案ガ出タサウデアリマス、サウシマスト大藏大臣ハ、今日ノ場合ハ増稅スル時期デハナイト云フ御話ガアリ、又滿洲問題ノ見込モ十分付カヌカラ、矢張増稅ヲヤッタラ宜カラウト云フ議論ガアッテ、ソコデ總理大臣カラ各國務大臣ニ、何カ良イ思付キガアッタラ出シタラ宜カラウト云フヤウナ御話ガアッテ、ソレニ對シテ軍部カラ増稅論ガ出タト云フヤウナコトデス、是ハ新聞ノ記事デアリマスカラシテ、私ハドウカト思ヒマスガ、有力ナ新聞モ相當ニ根據ガアッタヤウニ御書キニナッテ居リマシタ、必ズ何カソコニ事情ガアッタノダラウト思ヒマスガ、果シテ其増稅ト云フヤウナコトニ付テ、人ノ言フヤウニ色々ナ所得稅及ビ相續稅、サウ云フ方面ニモウ少シ途ガアルダラウ、又相當餘裕ノアルモノデア

ル、斯ウ云フヤウニ盛シニ書イテ居リマスガ、若シ財政計畫ヲ昭和十年ナリ、何ナリカラ建直スト云フヤウナ御計畫ノ中ニ、増稅ト云フヤウナ、是ガ御アリニナルカドウカ、御アリニナルナラバ、所得稅及相續稅ト云フヤウナモノガ、一番速ニ手ヲ著ケラ

レナケレバナラスモノデアルト思ヒマスガ、又其他ニドウ云フ御考ガアルカ伺ヒタイ
モウ一ツハ一昨年ノ春ノ議會ノ建議案ニモ出テ居ル所ノ、酒ノ專賣ト云フ如キ、是ハ建議案ガ議會ヲ通過致シマシテ、段々色ノ當業者ナリ、色々ナソレニ精通シテ居ル人カラ聞キマスト云フト、大體從來ハ二億一千萬圓程取レル、本年ハ一億八千萬圓ノ豫算ニナッテ居ル、昨年ハ一億七千六百萬圓ト思ヒマス、兎ニモ角ニモ二億萬圓バカリノ收入ガ見ラレル、而シテ此清酒ノ外ニ「ビール」其他色々ノ洋酒ト云フヤウナモノガアリマスガ、是等ノモノヲ專賣ニスル、專賣ニシテ成ベク安イ公債ヲ與ヘル、此税金モ拂ヒ色々ノ製造費モ拂ヒ——今日此酒ノ製造人ハ九千人カラアリマスガ、之ヲ半分マデニ整理スル、ソレカラ色々ノ方ヲ整理スルト云フト、現在ノ約二百萬圓バカリノ税金ノ外ニ、少クトモ一億萬圓バカリノ收入ガアル、是ハモウ一般ニサウ言ウテ居ルノデアリマスガ、果シテ茲ニ一億萬圓ノ收入ガ取レテ、而シテ衛生上ニ於テモ相當ノ改良モ出來ル、又禁酒論者ナドモ之ヲ支持シテ居ルト云フ話デアリマス、斯ウ云フ方面ニ一億萬圓ノ財源ガ出來ルトシタナラ

バ、之ヲ御考ニナッタラドウカ

モウ一ツ御聞申シタイコトハ、近來盛ニ論ゼラレル砂糖ノ官營デアリマス、砂糖ノ消費稅ハ七千四百萬圓ト云フコトニナッテ居リマス、此七千四百萬圓ト云フ所ノ消費稅、是ハ外國カラ來ルノデヤナイ、皆國內デ片付クノデアッテ、ソレニ砂糖ハ相當ノ利益ヲ上ゲテ居ル、先ヅ十二圓程ノ中デ生産費ヲ六圓カ七圓ト見テ、公債デ發行シナイデモ、砂糖ヲ專賣ノヤウナコトニスレバ、國家ニハ太シタ金ガ要ラス、僅ノ犠牲デ以テ五圓カ六圓ノ收入ヲ收メルモノトシテ、少クトモ四千萬圓カラ五千萬圓ノ收入ガ——今ノ砂糖消費稅ノ上ニ五千萬圓バカリノ收入ガアル、斯ウ云フコトハ社會政策ノ見地カラ言ッテモ決シテ惡イコトデハナイ、斯ウ云フコトヲ論ゼラレテ居ルノデアリマス、若モ茲ニ昭和十年度ニ於テ、財政ノ根本的建直シヲ御ヤリニナルト云フナラバ、砂糖ノ官營ト云フヤウナコトノ御考ハ如何ノモノデアルカ、朝野是等ニ對スル藏相ノ御意見ヲ伺ヒタイト考ヘテ居ル者ハ、隨分アルデアラウト思ヒマス

其次ニモウ一ツ伺ッテ見タイコトハ、電氣ノ國營デアリマス、電氣ノ料金ナド、云フモノハ、東京ノ料金ト田舎ノ料金ト非常ニ

違フ、之ヲ國營ニシテ有無相通ジテ、安イ
工事費デ上ゲルコトニスル、非常ニ安イ動
力ガ賣レル所ニハ事業ガ起ツテ居ラヌデ、東
京附近ノヤウナ事業ノ起ル所ハ動力ガ高
イ、若モ是ガ統一サレテ、大體動力料ガ均
一ニサレテ、國家ノ見ル所ニ依ツテ、場所ノ
好イ所デ動力ヲ安ク賣ルト云フ途方開カレ
タナラバ、勃然トシテ産業ガ起ツテ來ル、非
常ニ事業ガ起ツテ來ルニ違ヒナイ、是ハ各方
面ノ昔ノ工事費ノ高イ所ハ、ドウシテモ「バ
ランス」ガ取レスト云フヤウナコトガアル
ノデアリマスカラ、非常ニ不均一デア
ル、不均一ノ結果事業ガ起ラナイ、若シモ電氣
ヲ國營ニシタナラバ、國家ノ收入ノ上ニ於
テ非常ニ利益ガアリマス、サウシテ一方ニ
ハ事業ガ非常ニ勃興スル、斯ウ云フヤウナ
議論ガアリマスガ、斯ウ云フヤウナコトモ、
矢張一ツノ重要ナル將來ノ經濟國策トシテ
考ヘルベキモノデハナカラウカ、其他色々
ノ製鐵事業ニ付テモ八幡製鐵所ノ如キ、之
ヲ半官半民ノ計畫ニヤルト云フヤウナコト
モアリマスガ、是等ニ關シテ、斯ウ云フヤ
ウナ大事業ヲ、今ノ所御計畫ニナルヤウナ
何カ御考ガアルカドウカト云フヤウナ諸點
ニ付テ、ソレハ斯ウ云フ考デアル、今ソレ
ハ考ヘテ居ラヌ、考ヘテ居ルガ、ソレヲヤ

ラウトシテモ、今ハマダヤレナイト云フヤ
ウナコトヲ、至極簡單ニ説明シテ戴キタイ
モノダト思ヒマス

○高橋國務大臣 只今御尤ナ色々ノ御質疑

ガアリマシタ、私ハ茲ニ御斷リ申シテ置カ
ナケレバナラヌノハ、種々ノ産業、商工業
ノ方面ニ付テ、國策トシテ將來斯ウアリタ
イモノダト思フ考ハ、私見トシテ有ツテ居
リマスケレドモ、大藏大臣トシテソレ等ニ
對シテ、私見ヲ述ベルト云フコトハ如何カ
ト思ヒマス、ソレハドウカ各所管大臣ニ就
テ御確メヲ願ヒタイ、ソレカラ十年度ノ豫
算編成ノ時ニ於テハ、或ハ歳入ト歳出ノ均
衡ヲ保チ得ルヤウナ結果ヲ得ルコトガ出來
ルデアラウト云フコトハ申シタニ違ヒナ
イ、又サウ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ
是ハ何レモ將來ノコトニ屬スルノデアリマ
スカラ、私ノ考ヘテ居ルコトハ豫想ニ過ギ
ナイ、是ガ確ニサウナルト云フテ確言スル
コトハ出來ナイ譯ノモノデアリマス、何故
サウ云フ風ニ考ヘルカト申セバ、先ヅ租税、
印紙收入、ソレカラ官有財産、サウ云フヤ
ウナモノニ於キマシテモ、昭和三四年度カ
ラ較ベテ見マスト云フト、昨年邊リハ歳入
ガ二億五六千萬圓減ツテ居リマス、是モ全ク
財界不況ノ爲デアル、是ガ段々財界ガ立直

リマスレバ、少クトモ其程度ニハ復活シナ
ケレバナラヌモノダラウト思フ、ソレモ十
年度ノ豫算編成ノ時ト云フコトデスカラ、
昭和九年ト云フ意味ナンデス、昭和九年ノ
夏頃ニ十年度ノ豫算編成ニ掛カルノデアリ
マスカラ、其時分マデニハ財界モ餘程立直
テ、租税其他ノ歳入モ自然ニ復活シテ殖エ
テ來ルダラウト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリ
マス、ソレカラ又一方ニ於テハ、是モ今日
ノ狀態ニ於テ、先ヅ將來落付クモノト見テ
滿洲事件費ナリ、海陸軍ノ整備、改良費ナ
ド、云フモノモ、此八年度、九年度アタリ
ハ、或ハ是マデ無理ニ繰延ベラレタモノヲ、
繰上ゲテセネバナラヌト云フ必要ニ迫ラレ
テ居ルノデアリマスカラ、大キナ金高ニ
上ルコトガナイトモ限ラナイケレドモ、將
來ハ海陸軍兩大臣ニ私モ段々將來ノコトニ
付テ話ヲシテ見マスト、矢張サウ云フコト
ガ一番整ツテ行ケバ、餘ハサウ巨額ナモノガ
毎年出ル譯デナイヤウニ承ツテ居リマス、併
シ是ハ計畫ガマダ決マラスノデアリマセウ
カラ——併シ五ニサウシタイト云フコトノ
意見ハ一致シテ居ル、滿洲事件費ノ如キモ、
先ヅ是デ一段落ヲ遂ゲテ行ケバ、今日ノ所
デ例ヘバ一億八千六百萬圓ト云フモノガア
ルガ、恐ラク八九千萬圓デ済ムヤウナコト

ニ豫想サレテ居ルノデアリマス、一方ニ於
テハ歳入ガ自然ニ増ス、一方ニ於テハ歳出
ガサウ云フ風ニ、段々ト後年度ニ至ツテ減
テ行クト云フ形勢ヲ見マスト、十年度ノ豫
算編成ノ時ニ於テハ、財界ノ立直ルト同時
ニ、又増税ノ時期モ來ルデアラウ、其頃ヲ
以テ初テ茲ニ歳入歳出ノ權衡ヲ保チ得ルコ
トニナリハセヌカト、斯ウ考ヘテ居ル、今日
ハ御承知ノ通り世界中、此兩三年間程歳入
歳出ノ豫算ニ付テ見透シノ付カナイ時ハ殆
ドナイ、英米始メ何レノ國ニ於キマシテモ、
先ヅ一旦豫算ヲ出シテ議會ノ協賛ヲ經テ、
三四箇月經ツト云フトモウ其豫算ハ狂ツテ
シマフ、二度モ三度モ變ツテ居ル、其度毎ニ
歳出ガ増加シテ、歳入不足デ以テ皆公債或
ハ一時ノ借入金デ濟マス、其一時ノ借入金
ガ翌年返ス積リデアルノガ返セナクナツテ、
是ガ長期ノ公債ニナル、是ハマア一般ニサ
ウナツテ居ル、ソレガ我國ノ如キハ、先ヅド
ウシテモ豫算ハ一年間ノ見透シヲ付ケテ、
歳出歳入ヲ計ツテ行カナケレバナラヌ、ソコ
デ不足スルモノハ、已ムヲ得ズ公債財源ニ
依ツテ補填スル、而シテ此一年ヲ通ジタ所
ノ豫算ニ狂ヒガ生ジテ、思ハザル歳出ガ殖
エテ來テ、歳入ガ又不足ヲ生ジタト云フコ
トデ、二度モ三度モ一年ノ間ニ豫算ガ狂フ

ヤウニナツタナラバ、我國デハ是ハ大藏大臣ノ責任問題ニ止ラズ、或ハ内閣ノ責任問題ニナル程ニ重ク考ヘラレテ居ルノデアリマス、外國デモ初ハサウダツタカモ知レヌガ、此二三年ドウモ一般ノ財界ノ不況、世界的ノ不景氣其他ノ政治的ノ關係ヤラデ、到底一箇年ヲ見透シテ豫算ヲ立テルコトガ出來ナイト云フ狀態デアル、ソコデ此間モ華盛頓ノ電報ヲ見ルト、市俄古ノ大學校ノ經濟學者ガ皆華盛頓ニ集マツテ、一體毎年歳出歳入ノ權衡ヲ保ツト云フコトガ一ツノ習慣ニナツテ居ル、是ハ最近數年ノ有様ヲ見ルト、一年毎ニ必ズ權衡ヲ保タセルト云フコトニスレバ、其時ニ必要ナ歳出ヲ削リ、或ハ重イ稅ヲ課ケナケレバナラス、サウ云フコトハ事實出來ナイコトデ、何モ毎年權衡ヲ保タナケレバナラスト云フ理窟ガナイ、若シソレガ權衡ガ取レナカッタドウナルカト云フコトヲ役人ニ聽イタ所ガ、役人モドウナルカ分ラヌト云フ答辯デアル、一時ハ經濟學者ガ華盛頓ニ行ッテサウ云フ議論ヲシタリシタノデ、議員ヤ何カノ耳目ヲ聳動シタケレドモ、段々聽イテ見ルト、是ハ如何ニモサウデアル、今日豫算ノ歳入歳出ノ權衡ヲドウシテモ保ッテ行カナケレバナラスト云フ說ハ、是ハ古イ習慣ニ屬シテ居ル、

何モ二年、三年後ニナツテ始末ガ付ケバツレデ宜イ、毎年歳出歳入ノ權衡ヲ保ツト云フソレニ捉ハレテ行ケバ、ドウシテモ増稅ヲシテ行カナケレバナラス、一方ニ於テハ必要ナ歳出ヲ減ラサナケレバナラス、或ハ行政ノ整理モシナケレバナラスト云フヤウナコトデ、益、人心ヲ不安ニ導ク、且ツ今日ノ國民全體ガ世界的ノ不景氣ニ襲ハレテ皆弱ッテ居ル、經濟的ニ國民ガ全體ニ弱ッテ居ル時ニハ、彼等ノ負擔ヲ輕クスルコトガ必要デアルノニ、之ニマタ増稅スルナド、云フコトハ、益、國民ヲ不況ノ深ミニ陷ラシテ苦シメルノデアツテ、決シテ好クハナリハセスト云フヤウナ議論ガ、段々起ッテ來タヤウナ譯デアリマスガ、斯ウ云フコトハマダ我國デハ採入レル必要モナイケレドモ、併シ是ハ何ト申シテモ從來ノ型ニ捉ハレテ、唯歳出歳入ノ權衡ヲ保ツコトガ第一デアル、是ガ總テノ本ダト云フ考ハ、今日ハ餘リ重ク考ヘテ居ナイ、ソレヨリモソレノ本、歳入歳出ノ權衡ヲ保ツ本ニナルモノハ詰リ國民ノ生活デアル、國民ガ能ク働イテ生活ガ不自由ナクナツテ來レバ、是ガ基礎ニナツテ歳入歳出ノ權衡ヲ保ツコトガ出來ルヤウニナツテ來ル、所ガ今日ノヤウナ――

工業者ノ狀態ヲ見マス、御承知ノ通りデアリマスカラ、何ハ兎モアレ彼等ヲシテ健康狀態ニ復セシメ、働カセルヤウニスルノガ第一デアリマシテ、今日ハ残念ナガラ元ノ如ク入ルヲ計ッテ出ヅルヲ制スト云フヤウナ、經濟ノ原則ニ復スルコトガ出來ナイヤウナ狀態ニ立到ッタノデアリマスガ、併ナガラ此狀態ヲ何時マデモ續ケルト云フ考デハイケナイノデアリマスカラ、私ノ豫想トシテハ是ガ直ルノハ、十年度ノ豫算編成ノ時デアラウ、ソレカラ増稅ニ關シテモ色々御説ガアリマシタガ、是ハ中々容易ナコトデアリマセヌ、殊ニ私ノ意見トシテハ唯單ニ中央ノ稅制バカリ改メルノデハナイ、地方ノコトモ考ヘナケレバナラス、國家全體中央地方全體ノ稅制ノコトヲ能ク事實ニ即シテ考ヘテ、大ニ改革ヲ加ヘナケレバナラス時ガ來テ居ルノデアルト私ハ思ッテ居ル、而シテ此事ニ付テハ始終參考トシテ、成ベク其資料ヲ集メルト云フコトヲ、常ニ怠ラズヤツテ居ルノデアリマシテ、一々今御尋ノ問題ニ付テ、各條項ニ付テ私が斯ウ考ヘテ居ル、ア、考ヘテ居ルト云フコトヲ、具體的ニ御答ヘスルコトハ此際避ケタ方が宜カラウ、ソレカラ又酒ノ專賣、或ハ砂糖ノ專賣、電力ノ專賣、官營ニスレバ利益ガアルト云

フ御説モアリマシタガ、是等モ餘程考慮ヲ要スル問題ダト私ハ考ヘテ居ル、元來成ベク此事業ト云フモノハ民間ニヤラセタイ、國營ト云フコトハ成タケ避ケタイト云フコトガ、是ガ私ノ豫デヨリノ考デアルノデアリマス、ソレハ大體申シマスルト云フト、官營ト云フコトハ詰リ其従業員ガ――其仕事ヲ經營スル人達ガ他ニ競争ガナイカラシテ、之ニ新タナ工風ヲスル、常ニ經濟的ニ、科學的ニ、理學的ニ其改革ヲスルト云フトニ努力ヲスルト云フ氣分ガ鈍ルノデス、ソレガ民營デアリマスと云フト、自カラソコニ他ノ同業者トノ間ニ競争ト云フモノガアツテ、是ガ刺激シテ新タナル工風ヲ凝ラシ、發明モサセルコトニナルノデアリマスカラ、ドウモ此國營トカ、官營ニナリマスと云フトソレガ甚ダ薄イ、即チ個人々々ヲ奮發サセル刺激トナルカラ薄クサセルト云フ、玆ニ損失ガアルノデアリマス、私ハ成ベク事業ト云フモノハ民間ニ委ネタ方が宜シイト云フコトヲ、豫テ私ノ自説トシテ持ッテ居ルノデアリマス、併シ御話ノ電力ノ如キ、私ハ其電力ノ如キ御説ニ付テハ一向變リハナイノデス、成ベク安ク供給スルト云フコトハ、是モ私ハ時々自分ノ私見トシテ見ル時、一體此電力ト云フモノハ出來ルダ

ケ安クシナケレバナラス、幸ニ我國ハ河川ガ多イ、山川ノ多イ國デスカラ、水ノ力ヲ十分ニ使フコトガ出來ル國柄デアルノデス、殊ニ水ト云フモノハ、我國農業ノ耕作ニ非常ナル關係ヲ持ッテ居ル、工業ト農業トヲ併セ能ク考ヘテ、十分ニ河ヲ利用シナケレバナラス、水ヲ利用シナケレバナラス、ソレヲ民間ノ出願ニ對シテ、一ツノ小サナ河ニ向ッテ、幾所ニモ小サナ會社ヲ起サセテ、發電所ヲ設ケルト云フコトハ、其河ノ力ヲ十分ニ利用スルコトガ出來ナイ、ノミナラズ却テ電力ヲ安クスル途ニモ副ハナイ、少クトモ國家ガ發電所ダケハ國營ニシタラ宜カラウ、其代リ國營ニスルニ付テハ、其資本ハ公債ニ依ラナケレバナラス、其公債ノ元利ヲ拂ウニ足ルダケノ收入ヲ得レバ宜イ、之ニ依ッテ何モ國ガ利益ヲスル、歲入ヲ之ニ依ッテ殖ヤサウト云フヤウナ考ハ私ハ持タヌノデアル、而シテ此電力ヲ或ハ電燈ナリ、或ハ機械ノ力ナリ、或ハ熱ノ爲ニ之ヲ個人々々ノ、一般ノ人ノ使フ所ニ適用サセテ行ク其機關ハ是ハ民間ノ會社ニヤラセル、其會社ハ併シ必ズ地域ヲ決メテ互ニ相爭フコトナク、專賣ノ形ニ依ッテ是ハヤラナケレバナラス、公益ノ事業デアッテ、專賣ノ形ニナルト思フノデアリマスカラ、

隨テ國トシテハ其會社ノ株主ノ配當ニ付テハ、相當ノ制限ヲ設ケナケレバナラス、而シテ利益ガ多クナレバ多クナルマデ——配當ノ制限ガヨリ以上ニ行ケバ、必ズ使用者ノ利益ヲ圖ッテ電燈ナリ、或ハ電力ナリ電熱ナリ、其費用ヲ低メテ下ゲテ行クト云フ方ニ努メサセナケレバナラス、斯ウ私ハ電力ニ付テハ考ヘテ居ル、其電力ノコトニ付テハ、今申ス通りノ國營ト云フコトノ必要ヲ、私ハ豫テ思ッテ居ルカラシテ、私見トシテ申述ベテ置キマス

酒ヤ砂糖ノコトニ付テハ、私ハ之ヲ國營、官營ト云フヤウナコトハ、未ダ曾テ考ヘテ居ラヌノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○高見委員 大體大藏大臣ノ率直ナ御答辯デ能ク分リマシタカラ、是以上ハ議論ニナリマスカラ、是デ質問ヲ止シマス

○木暮委員 私ハ極メテ簡潔ニ、朝鮮事業公債法中改正ニ付テ大藏大臣、拓務大臣ニ御伺シテ見タイト思フノデアリマス

先ヅ第一ハ今日ノヤウニ公債ガ増加スルコトガ、日本ノ財政ノ將來ニ付テ、ドウデアルカト云フヤウナ議論ガ盛デアル今日ニ於テ、公債ヲ以テ事業費ノ補助マデスルト云フコトハ、理窟ノ上カラ言ッテ不條理ノ嫌

ガナイカ、内閣ノ方針トシテモ借金ヲシテ、赤字公債ヲ出シテ、辻褄ヲ合セナケレバナラヌヤウナ時ニ、事業ノ補助ニマデ借金を以テヤルベカラザルモノデアルト云フヤウナ御考デアリマセウカ、例ヘバ私鐵會社ニ對スル、未ダ減額サレタコトノナカッタ從來ノ補助ヲ、此際ハ減額スルト云フヤウナ法案マデ出デ居ル、之ニ付テハ議論ノ餘地ハ存スルデセウケレドモ、一方借金ヲシテ辻褄ヲ合セテ居ル時ニ、事業費ノ補助マデ國家負擔デアル借金デ行フト云フコトハドウデアラウカト云フコトニハ、條理上認ムベキモノガアルヤウニ私ハ考ヘル

斯ウ云フ風ニ考ヘテ來ルト、一方鐵道省ノ如キ、從來ヤッテ居ッタ私鐵ノ補助マデ減額シナケレバナラヌト云フヤウナ時ニ、今マデ一般財源ニ限ッテ、朝鮮事業費ノ補助ヲヤッテ居ッタモノヲ、或ハ事業ノ補助費ヲヤッテ居リマシタモノヲ、金額ハ八十九萬圓ト云フ僅カナ足ヲ出シタモノデアルカラ、之ヲ公債支辨ニスルト云フコトハ差支ナカラウト言フケレドモ、條理ノ上カラ見テ、借金ヲシテマデ事業費ノ補助ヲヤルト云フコトハ、今ノ公債ガ累増シテ居ルコトガ、日本ノ財政ニ對シテドウ云フ影響ヲ及ボスカト云フコトガ、當面ノ問題ニサレテ居ル時

ニ、不穩當ノ嫌ガアルヤウニ思フノデアリマス、從來ノ色々ノ法律ヲ調べテ見マシタケレドモ、事業費ノ補助ニマデ公債ヲ適用シテ居ルノハ、唯獨リ臺灣ノ事業公債ニアルバカリデアル、例ヘバ道路公債ナドデアルト言ヒマスケレドモ、是ハ道路ノ改良、補助ト云フヤウナコトデ、茲ニ謂フ所ノ事業費ノ補助ト云フヤウニ、借金ヲ以テヤッタモノデハナイト私ハ信ジテ居リマス、是ガ例ニナッテ今後ニ於テモ關東州ノ事業公債法モアレバ、或ハ樺太ノ事業公債法モアル、幸ニ今日ハ事業ダケニ對シテ公債ヲ以テヤルト云フコトヲ認メテ居ルモノヲ、コ、デ臺灣事業公債ニ於テ、借金ニ依テ事業費ノ補助マデ及ボスト云フコトヲ認メテ、加フルニ今回朝鮮ノ事業公債デ、借金デ以テ事業費ノ補助マデヤルト云フコトニナレバ、次イデ起ルモノハ前ノ例ニ依テト云フノデ樺太ノ事業公債モ、矢張事業ノ補助マデ及ボサウトカ、或ハ關東州ノ方モ事業ノ補助マデ公債ヲ以テヤラウカト云フコトニ、延テハナリハシナイカト云フコトヲ、私共ハ心配致スノデアリマシテ、先ヅ借金ヲシテ事業ノ補助マデヤルト云フガ、一方鐵道省ナドデ從來與ヘテ居ッタ私鐵ノ補助費マデ削ルト云フコト、條理上矛盾シテ居ルコ

トデアルカ、ドウカト云フコトノ疑問ヲ持
ツノデアリマス、之ヲ一ツ御伺シタイコト
ト、ソレカラモウ一ツハ、只今申上ゲマシ
タ今後ニ於テ樺太ノ事業公債法ヤ、或ハ關
東州ノ事業公債法ニモ、必要ニ應ズレバ相
變ラズ事業費ノ補助ヲ、借金デヤルト云フ
精神ヲ擴張シテ行クト云フ御考デアリマス
カドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

第二點ニ伺ヒタイ事ハ、此事業費ノ補助
ノ題目ガ、私共カラ言フト不穩當ノヤウニ思
フノデアリマス、土地ノ改良助成費、即チ產
米増殖ノ計畫デアリマセウ、是ガ八年度豫
算ニ於テ四百六十六萬圓アル、是ハ從來ハ
全部一般普通財源デ支辨シテ居ッタモノデ
アリマスガ、今回ハ此四百六十六萬圓ノ土
地改良助成費ノ中デ、一般財源カラ支辨シ
テ居ルモノガ三百七十七萬圓、其不足ノ八
十九萬圓ダケヲ公債財源デヤル必要上、朝
鮮事業公債法ノ改正ガ必要ダト云フ此間政
府委員ノ御答辯デアリマシタケレドモ、今日
ハ御承知ノ通り——詳シクハ申上ゲマセヌ
ケレドモ、米穀統制ガ中々ヤカマシクテ、
或ル一部ノ議論デハ、朝鮮米ヲ移入スルト
云フコト其事ガ、内地ニ於ケル米ノ需給關
係ヲ混亂セシムルモノデアルト云フヤウナ
議論サヘアルノデアリマス、中央、植民地

相共ニ理解シ合ッテ、内地ノ米穀ノ需給關係
ノ混亂ヲ防ガナケレバナラスト云フコト
ガ、先頃ノ米穀統制委員會ノ決議ニマデナッ
テ居ルト私共聞イテ居リマスル時ニ、此土
地改良助成費、即チ朝鮮デ米ガ餘計穫レル
ト云フ、產米増殖ノ費用ニ、斯様ナ公債ガ
多クナッテ行ク時ニ、借金シテマデ補助ヲ與
ヘテ、朝鮮米ノ増殖ヲスルト云フコトガ、
米穀統制ヲ政府デ御ヤリニナルト云フ事ト、
矛盾シテ居リハシナイカト云フコトヲ御伺
ヒシタイ

モウ一ツハ、一般財源デ以テ事業ノ補助
ヲヤッテ居レバコソ、或ル程度ノソコニ喰止
リト云フモノガ出來ルノデアリマスケレド
モ、事業費ノ補助ト云フモノヲ借金デヤッ
テモ宜シイ、公債ヲ以テ事業費ノ補助ヲ今
後ヤッテモ宜シイト云フコトニナルト、動
トモスルト是ガ放漫ニ流レテ、事業費ノ補
助ト云フモノガ、非常ニ多額ニナルヤウナ
嫌ガアル、之ヲ防グコトハ事實上、一度法
律ヲ認メタ以上ハ出來マイト思フ、或ハ滿
洲事件費ノ如ク、或ハ時局匡救費ノ如ク、
或ル年限ヲ限ッタモノデアリマスナラバ、公
債ト致シマシテモ議論ガ少イノデアリマス
ケレドモ、此法律ヲ見マスルト當分ノ内ト
カ何トカ云フコトガナイ、今マデ與ヘナカッ

タ所ノ事業費補助マデ、借金ヲシテヤルト
云フコトガ永久ニ認メラレルコトニナル
ト、一般財源ノ中カラ出シテ居レバ、事業
費ノ補助ヲ或程度デ喰止メ得ルモノガ、公
債デ以テヤルコトニナルト、非常ニ多額ニ
ナル傾ヲ有ツコトヲ恐レルノデアリマス、
此三點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思フノデ
アリマス

○永井國務大臣 木暮君ノ御心配ニナリマ
ス點ハ、私モ全ク同感デアリマス、公債ノ
増發ヲ出來ルダケ防イデ、健全ナル財政計
畫ヲ樹テナケレバナラスト云フコトハ全ク
同感デアリマス、其點カラ此度ノ朝鮮ノ事
業費補助ヲ公債ニ依ルト云フコトニ付テ、
御質問ニナッタノデアリマスガ、實ハ私共モ
出來ルダケ公債支辨ニ依ルコトヲ避ケタイ
ト思ッタノデアリマスガ、是ハ已ヲ得ナイ事
情ガアルノデアリマス、ソレハ木暮君モ御
承知ノヤウニ、朝鮮ノ一般普通財源ニ依ッ
テ、事業費ノ補助ガ出來レバ結構デアリマ
スガ、其一般普通財源ガ今日ノ不況ノ爲ニ、
以前ノヤウニ收入ガ得ラレナイノデアリマ
ス、前年度ノ施行豫算ニ比較シテ見マス
ト、今年ハ租稅收入ニ於テ約百二十萬圓減
收ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ官業
竝ニ官有財産ノ收入ニ於テハ、約二千萬圓

ノ減收ニナッテ居リマス、前年度ノ剩餘金ノ
繰入ナドモ、昭和七年度ニ較ベルト約四百
萬圓減少ニナッテ居ルノデアリマス、一般普
通財源トナルベキモノガ、非常ニ減少致シ
タノデアリマス、ソコデ土地改良費四百六
十六萬圓ヲ、全部普通財源ニ依ルコトガド
ウシテモ出來ナクナリマシタ、出來得ル限
リハ之ヲ普通財源ニ求メマシテ、約三百七
十七萬圓ハ普通財源カラ支出シタノデアリ
マスガ、其已ヲ得ナイ不足シテ居ル部分、
約八十九萬圓ダケヲ公債ニ依リ補助スルト
云フコトニ致シタノデアリマス、併シ是モ
普通財源ガ今日ヨリ良好ニ向ヒマスレバ、
直ニ普通財源ニ之ヲ復シタイト思ッテ居リ
マス、是ハ出來ルダケ早ク廢メタイト云フ
考ヲ持ッテ居ルノデアリマス

ソレカラ產米増殖計畫ヲ今日繼續スルト
云フ事ソレ自身ガ、今日ノ内地ノ米穀政策
ニ照シテ適當デナイデハナイカト云フ御質
問ガアリマシタガ、其點モ御尤デアリマシ
テ、政府ト致シマシテモ、產米増殖計畫ヲ
最初計畫シテ居ッタヤウニ大規模ニヤルコ
トハ、今日見合セタノデアリマス、併シ既
ニ計畫ヲ樹テテ、產米増殖計畫ガ繼續事業
トナッテ居ルノデアリマスカラ、今日之ヲ中
絶スルコトハ出來マセヌガ、最小限度ノ所

デ之ヲ繼續スルコトニ致シマシタ、其爲ニ豫定ノ仕事ガ豫定ノ範圍デ行ハレマセヌカラ、失業者ナドガ出テ來ルコトニナツテハ、非常ニ其點ニ於テ氣ノ毒デアリマスカラ、他方ニ於テハ產米増殖計畫ノ代リニ、棉花ノ栽培ノ方ニ仕事ヲ移シマシテ、餘ッテ居ル勞働者ハ其方ヘ移スト云フ風ニ考ヘマシテ、產米増殖計畫ノ方ハ唯之ヲ打切ラナイ程度ニ於テ、出來ルダケ小規模ニ繼續スルト云フ方針ニナツテ居ルノデゴザイマス

ソレカラ他ノ外地ノ豫算ニ於テモ、事業費補助ヲ公債ニ依ルト云フヤウナ考ヲ有ッテ居ハシナイカト云フコトデアリマスガ、吾々ハ出來ルダケ斯ウ云フ事ハ避ケタイ、只今申上ゲマシタヤウニ、朝鮮ハ已ムヲ得ザル普通財源ノ激減ノ爲ニ執ッテ非常手段デアリマシテ、斯ウ云フ方法ヲ他ノ外地ノ豫算ニ及ボスコトハ避ケタイト思ッテ居リマス

○木暮委員 只今ノ御説明デ能ク分リマシタ、今後之ヲ例トシテ、拓務省關係ノ關東州事業公債法ヤ、或ハ又樺太事業公債法ノ方ニマデ、事業費ノ補助ニ公債支辨ヲヤラウト云フ御考ハ御持チニナラスト云フコトヲ伺ッテ、非常ニ私ハ結構ダト思ヒマス、ソレカラ又朝鮮ノモ必要已ムヲ得ザルニ出デ

タモノデアアルカラ、一般財源ノ收入ガ舊ニ復スルヤウニナルノヲ待ッテ、一日モ速ク斯ウ云フ不條理ナ法律ハ廢メタイト云フ御考ヲ今御發表ニナツタコトモ、當然ノ事デハアリマスケレドモ、率直ナ御答辯ヲ得タコトハ至極結構ダト思ヒマス、成ベク斯ウ云フ事業費ノ補助マデ借金デヤルト云フヤウナ方針ハ、止メテ行クト云フコトニ、今後モ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、之デ此質問ハ打切ッテ置キマス

○金光委員長 一寸申上ゲテ置キマスガ、本日ハ大藏大臣ノ質問ヲ成ベク繼續シタイト存ジマシタケレドモ、第三分科ノ方ガドウシテモ今日質問ヲ終了シタイヤウナ意圖デ、一寸顔ヲ出サナケレバナラスト云フコトデアリマシタカラ、大藏大臣ヘノ御質問ハ次回ニ御願ヒスルコトニシタイト存ジマス、今日ハ拓務大臣ノ方ニ御質問ガゴザイマシタラ御願ヒ致シマス

○高見委員 一寸拓務大臣ニ御伺致シマス、アノ滿洲ガ非常ナ重要性ヲ帶ビテ居ルノハ、單ニ物產ト云フヤウナコトカラデナク、世界ノ幹線ニ滿洲ガ當ッテ居ルカラ重要デアアル、御承知ノ如ク吉會鐵道ト云フモノガ出來ルト、新京カラ内地ノ名古屋マデ行クノニハ、奉天ニモ京城ニモ寄ラナイデ、

此鐵道ガ朝鮮ノ雄基ノ方ヘ出ル、此線路ト云フモノハ世界ノ重要幹線ニ當ルモノデアッテ、非常ナ重大ナ價值ヲ發揮スルヤウニ思フガ、拓務省アタリデハ大體ソレト同ジヤウナ御考ヲ持ッテ居ラレルカドウカト云フコトヲ聞イテ見タイ、今度吉會鐵道ヤ色々ノ鐵道ヲ軍部ガヤッテ居ル、軍部ガヤッテ居ルノヲ外カラ見ルト、大抵軍事鐵道ノヤウニ見エルガ、サウデナイノデアリマスカ、拓務省ノ御考デハ、是等ハ重要ナル鐵道デアル、將來日滿ノ間、殊ニ日本ノ立場カラ見テ、經濟上非常ナ重要ナ鐵道ダト御考ナサッテ居ルカ、ソレカラ今度雄基ノ方ニハ滿鐵デ三千萬圓バカリノ資本ヲ卸シテ、サウシテ大波止場ヲ造ラレル御計畫ニナツテ居リマスルガ、是等モヤハリ將來ノ產業ト云フ方面ニ目ヲ著ケテ、御ヤリニナツテ居ルノデアラウト思フガ、果シテドウ云フヤウナ御考デ、斯ウ云フ計畫ヲシテ居ラレルカ、恐ラク斯ウ云フ鐵道ト云フモノハ、非常ニ產業ノ上ニ於テモ重要ナル意義ガアルモノト考ヘマス、ソレデ若モサウ云フコトデアリマス、特ニ吉林省邊リ乃至北鮮方面ニ於ケル所ノ、富源ノ開發ニ對スル相當ノ御計畫ト云フモノガアルト思ハレルガ、ソレヲ一ツ聞カシテ貰ヒタイ、ソレカラ聞

クガ如クンバ、張學良カラ取上ゲタ所ノ相當ノ財産ガアルサウデアリマス、場合ニ依ッたら是デ相當事業ヲヤラウト云フコトデアッテ、立派ナ人物ガ現レルナリ、或ハ一ツノ地方團體、例ヘバ縣ト云フヤウナモノガ移住ヲヤルト云フヤウナコトデアッタラ、喜ンデ之ヲ滿洲當局ト相談シテ、拂下ヲスルト云フヤウナ話ガアリマスルガ、果シテドウデアリマスカ、サウシマスルト、或ル縣、例ヘバ拓務大臣御出身ノ石川縣ナリ、或ハ富山縣ナリ、福井縣ナリ、新潟縣ナドノ出身者ガ北海道邊リニ於テ相當移民ニ於テ成功シテ居ル、日本國民ハ移民ハムヅカシイト云フケレドモ、吾々ノ觀察ハサウデハナイ、ムヅカシイト云フノハ失敗シタ縣出身ノ人ガサウ云フノデアッテ、北海道アタリデ成功シタ地方ノ人々ハ吉林アタリヘ行ッテ、一ツ移民ヲシヨウト云フコトヲ今カラ考ヘテ居ル者モアルノデアリマス、サウ云フコトニ對シテハドウ云フ御考デアリマスカ、拓務大臣ノ率直ナル御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ同時ニ吉林省ニ於テノ富源開發ノ、何カ材料ヲ御持チニナツテ居ルカドウカ、ソレカラ舊政府ノ物ヲ沒收シテ、サウシテ新政府ニ所屬シ、必要ナ場合ニ日本國民ノ爲ニ、十分ナル開發ノ材料トシテ

提供シヨウト云フモノガアルサウデアリマ
スガ、サウ云フモノハ拓務省デ御調べニナ
テ居ルカドウカ、ソレモ一ツ御明答ヲ出來
ルコトナラ聞カシテ貰ヒタイと思ヒマス、
之ヲ先ヅ一寸聞イテ置キマス

○永井國務大臣 從來ハ南滿鐵道、東支鐵
道ガ世界ノ交通路ノ幹線ト致シマシテ、重
大ナル意義ヲ有ッテ居リマシタヤウニ、其
間ノ新京カラ日本海方面ニ接續スル鐵道
ハ、世界ノ交通路ノ幹線トシテノ、同じ意
義ヲ有チ得ルト思ヒマス、殊ニ或地方ニ依
リマシテハ新京カラ大連ヲ通過シテ内地ニ
向ヒマスヨリハ、朝鮮ニ出テ内地ニ接續ス
ル方ガ遙カニ距離ヲ短縮シ得ル場所モアル
ノデアリマスカラ、南滿鐵道ト同じニ世界
ノ交通路ノ幹線トシテ、意義ヲ發揮スルコ
トガ出來ルト存ジマス、隨テ其鐵道ノ終點
トナルベキ港灣ヲ修築スルト云フコトハ、
非常ニ必要ト考ヘテ居リマス、是ハ出來ル
ダケ努力スル積リデゴザイマス、ソレデ其
鐵道竝ニ港灣ガ、單ニ軍事上ノ目的ノミニ
使用セラル、ノデハナイカト云フヤウナ御
質問モアリマシタガ、日本ハ日滿議定書ノ
精神ニ依リマシテ、滿洲ノ治安ヲ維持スベ
キ責任ヲ有ッテ居リマスカラ、軍事上ノ事モ
勿論考慮シナケレバナリマセヌケレドモ、

同時ニ滿洲ノ資源ヲ開發シテ、之ニ依テ日
滿兩國ノ經濟的福利ヲ増進スルト云フコト
モ、大切ナ仕事ダと思ヒマス、殊ニ滿洲ノ
富源ガ開發サレテ來マシテ、追々新シイ產
業ガ起ッテ來マスレバ、滿洲人ニ對スル勞力
ノ必要モ増加シテ參リマス、サウナリマス
レバ、職業ヲ有セザルガ爲ニ所謂土匪、馬
賊トナッテ居ルヤウナ者モ新タニ職業ヲ得
テ、土匪、馬賊ト云フヤウナ事ヲシナイデ
モ生活ノ出來ルヤウニナッテ來マス、ソレガ
又治安維持ノ目的ニモ適合スルコト、存ジ
マス、滿洲ニ於テハ出來ルダケ經濟的ニ考
慮シナケレバナラヌト思ッテ居リマスケレ
ドモ、鐵道港灣ハ共ニ軍事上ノ意義ノミナ
ラズ、經濟上ノ見地カラハ經營シナケレ
バナラヌト思ッテ居リマス、ソレデ大體鐵道
港灣ニ對シマシテハ、其軍事上竝ニ經濟上
ノ見地カラ、一切ノ經營ヲ進メテ居ル次第
デゴザイマス、ソレカラ滿洲ノ開發ニ關シ
テ、色々調査資料ヲ有ッテ居ルカト云フ御
質問デアリマシタガ、此富源ノ調査ト云フ
コトニ對シテハ頗ル不完全ナノデアリマ
ス、ソレハ今マデ治安ガ紊亂シテ居リマシ
タガ爲ニ、滿洲國自體モ富源ノ調査ガ十分
出來テ居リマセヌ、又日本ノ方デ其富源ノ
調査ヲ引受ケテスルト云フヤウナ時期ニ

モ、マダ達シテ居ラスノデアリマス、最近
森林ノ如キモノニ付テ、滿洲國政府ハ之ヲ
調査スル意思ガアルト云フコトヲ承リマ
ス、又金鑛ノ如キモノハ、出來ルナラバー
ッ日本ノ學者ノ團體ヲ組織シマシテ、サウ
云フヤウナ團體ヲ滿洲ニ送ッテ、其金鑛ノ調
査ヲスルト云フヤウナ事モ必要デアラウト
考ヘテ、其點ニ付テハ滿洲國ト交渉モシテ
居リマス、是カラ治安維持ノ出來タ曉ニ於
テ、色々ノ調査ヲ進メテ行カナケレバナラ
ヌト思ヒマス、又移民ノ必要モ非常ニアル
ト思ヒマスガ、是ハ鐵道ガ次第ニ敷設サレ
テ行キマスレバ、鐵道沿線ヘハ自然ニ商業
移民ガ集ッテ行キマス、又ソレニ依ッテ色々
ノ工業ガ起ルノデアリマスガ、工業ガ起ッ
テ工場ガ建設サレルヤウニナリマス或ハ
技師トシテ、或ハ技手トシテ、ソコニ鑛業
移民ノ如キモノモ入ル機會ガ出來テ來ルノ
デアリマス、唯農業移民ハ、是ハ從來日本
ガ計畫シマシテ、成功シタ實例ガナイノデ
アリマス、大抵ハ失敗ニ終ッテ居リマス、併
シ農業移民ガ行ハレテ、日本人ガ滿洲ノ内
地ニ深く入ッテ、未開拓ノ富源ヲ開發スルト
云フコトガ、滿洲自體ノ購買力ヲ盛ニスル
上ニ於テモ、非常ニ必要ナコトデアルト思
ヒマスシ、又生命線ト云フコトヲ考ヘル以

上ハ、實際ソレニ日本人ノ居ルト云フコト
モ、非常ニ必要ダと思ヒマス、サウ云フ見地
カラ健全ナル基礎ノ上ニ立ッ農業移民ノ計
畫モ樹テナケレバナラヌト云フコトデ、豫
テ御協賛ヲ願ヒマシタヤウナ自衛移民ノ計
畫ヲ樹テマシテ、匪賊ニ抵抗シツ、農業ノ
實行、調査實驗ヲヤルト云フコトノ移民計
畫ヲ始メタノデアリマス、之ニ關スル八年
度ノ豫算ガ御協賛ヲ得マスレバ、合計千人
ノ日本ノ農民ニ依ル所ノ實驗ガ、吉林省樺
山縣ニ於テ行ハレルコトニナリマスガ、其
成績ガ非常ニ宜シケレバ、サウ云フ組織ニ
依ッテ、モット大規模ニ農業移民ヲ興シタイ
ト云フコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス、
大體サウ云フ方針デ滿洲ニ對シテ居ル積リ
デアリマス

○高見委員 吉林ノ方デ、聞クガ如クンバ、
今ノ國土館ト云フコトニ付テ、上塚サンノ
言ハレル所モ、三百町歩ノ地面ヲ買取ッテ、
ソレヲ開發スルヤウナコトヲヤッテ居ルヤ
ウデアリマス、段祺瑞ガ何萬町歩モ持ッテ
居ッタト云フコトデアリマス、ソレデ日本ノ
人ガ行ケバ大變便利ヲ圖ルト云フコトデア
リマスガ、サウ云フ沒收サレタ地所ハドウ
云フ工合ニナッテ居ルノデアルカ、ソレガ
分ッテ居ルナラバ、私共ニ表ニシテ出シテ戴

キタイト思ヒマス、ソレカラ又吉林開發ニ
關スル色々ナ試驗、是ハ一寸私ハ調ベテ
見マシタガ、彈春ダケデモ大分アリマス
ガ、民有地ガ約十萬町歩、サウシテマダ十
二萬町歩ハ、未開發ニナッテ居ルト云フヤ
ウナコトモアリマシタガ、今日デナクデモ
宜シウゴザイマスカラ、吾々一同ニ材料ヲ
出來ルダケ分ルヤウニシテ、吉林方面ト北
鮮トノ聯絡ヲ調ベテ出シテ戴ケルヤウニ願
ヒタイト思ヒマス

○永井國務大臣 ソレハ御承知ノヤウニ昭
和七年度ニ於キマシテ、大體元ノ張家ノ土
地ヲ沒收シタノハドウナッタカト云フコト
ハ、是ハ滿洲國政府ノヤッテ居ルコトデア
ッテ、ドレダケノ範圍ニ互ッテ居ルモノデア
ルカ、其正確ナ數字ハ得ラレナイノデス、
ソレカラ今御話ノ吉林省ノ鏡泊湖附近デ國
土館ガ、是ハ農業移民ノ訓練ト實驗トヲヤ
ルト云フ目的デ、土地ヲ貰ヒタイト云フコ
トヲ申出タ、是ハ滿洲國政府ガ同意ヲシタ
ノデアリマス、ケレドモ其附近ハ匪賊ノ出
沒ガ盛デ、實ハ其處ヘ行ッテ準備行爲ヲス
ルコトガ出來ナイ、ソコデ其處ヘ行ッテヤ
ルニハ、日本ノ軍隊ヲ多數ニ其處ヘ送ッテ
置カケレバ出來マセヌガ、他ノ方面ノ治
安維持ニ、日本ノ軍隊ハ忙殺サレテ居ルノ

デ、許可ハ得タケレドモ、其儘デアリマシ
テ、今此方ノ方面デ色々學校關係者ガ準備
ヲシテ居ルト云フダケデアリマスガ、是ハ
將來有望デアラウト思ヒマス、ソレデモ日
本自身デ出來ルダケ移住適地ヲ發見シテ、
サウシテ匪賊ノ損害ガナクナッタ時分ニ早
クヤリタイト云フノデ、昭和七年度、八年
度ニ於キマシテ、御協賛ヲ得マシテ移住適
地ノ調査ト云フコトヲヤッテ居リマス、是ハ
色々技師ガ行キ、其他多數ノ人ガ行ッテ調
査中デアリマス、是ハ或ル時期ニナリマシ
タナラバ御希望ノヤウニ材料ヲ提出出來ル
ト思ヒマス

○高見委員 試驗ノ材料ガ分ッテ出來ル
ダケ早く一ツ願ヒタイト思ヒマス

○永井國務大臣 承知致シマシタ

○櫻井委員 一寸朝鮮ノ問題デ伺ヒタイコ
トガアリマスケレドモ、是ハ政務總監ニ伺
フコト、致シマシテ、拓務大臣ニハ單ニ一
二點ダケ御尋ヲ致シタイ

先刻ノ高見君ノ質問ニ對シマシテ、國際
的ノ幹線トシテ單ニ南滿鐵道ニ止マラズ、
吉會線モ其中ニ入ルノデハナカラウカト云
フ質問ニ對シテ、拓務大臣ヨリ御答辯ガア
リマシタガ、ソレニ新京ヨリト云フ拓務大
臣ノ御話デアリマス、モウ既ニ陸軍大臣モ

發表シテ居ラレルデアリマスガ、アレハ新
京ヨリハ哈爾濱、所謂拉賓線ニ依ッテ、哈爾
濱カラ朝鮮ニ拔ケテ、直ニ日本海ニ連絡ス
ル、是ガ一番近イ線デアッテ、少クトモ南滿
鐵道ト合セテ、幹線トナルベキモノデアラウ
ト思ヒマスガ、矢張サウ解釋シテ宜シイノ
デアリマセウカ、是ハ日本カラ一番近イ道
ヲ取ルト云フ上ニ於テ、吾々ハハッキリト
意識シテ置イタ方ガ宜イト思フ、詰リ哈爾
濱カラ拉賓線ニ依ッテ來ル線ガ一番近クテ、
是ガ世界ノ幹線タル意義ヲ有ツモノデア
ル、斯ウ云フコトヲ吾々ハ承知シテ宜イカ
ドウカト云フコトヲ、拓務大臣ニ伺ヒタイ
ノデス

ソレカラ今一ツ同時ニ斯ウ云フ意味ヲ
伺ッテ置キタイト思フ、日滿經濟ノ上カラ眺
メ、且ツ滿洲ノ將來ノ方針ヲ定メル上カラ
考ヘマシテ、滿洲ニハ少クトモ二ツノ考ヘ
方ガアルト思フ、大連ニ近イ方ノ考ト致シ
マシテハ、努メテ大連ヲ經濟的ノ中心ニシ
テ開發シタイ、斯ウ考ヘル、併ナガラ滿洲
全體ノ經濟的ノ開發ノ上カラ考ヘルト、ソ
レハドウモ從來ヨリノ事デアッテ餘リ方針
トシテハ好マシクナイ、ドウシテモ滿洲ノ
開發ハ將來哈爾濱ヨリ眺メテ、サウシテ哈
爾濱ヨリ吉會線ニ依ルモノガ一ツト、所謂

羅津ナラ羅津ト云フモノヲ一ツノ目標ニス
ルノガ一ツ、今一ツハ大連、今一ツハ營口
ト云フヤウニ、少クトモ三ツノ港ト連絡シ
タモノヲ考ヘテ、滿洲ノ開發ヲ安排シナケ
レバナラナイ、斯ウ云フ意見ガアルト思フ、
斯ウ云フコトハ經濟的ノ色々ナ計畫ヲ立テ
ル上ニ於テ、重大ナル關係ガアルト思ヒマ
スカラ、是モ局部ノ人ニ對シテハ失望セシ
ムルコトニナルカモ知レマセヌガ、滿洲開
發ノ大方針トシテ、拓務大臣ハ其方針ヲ明
ニセラレル御考ハナイカドウカ、之ヲ一點
伺ヒタイト思ヒマス

ソレカラ今一點、是デ私ノ拓務大臣ニ對
スル質問ハ終リマスガ、其一點ハ朝鮮人ノ
滿洲ニ移住ノ問題デアリマス、鮮人ノ中ニハ
色々ナ過激ナ思想ヲ抱ケ者ガアリマシテ、
洵ニ是ハ取締上困難ヲ向キノ者モ澤山アル
ト思ヒマス、斯ウ云フ者ガ滿洲ニドン／＼
今流込ムト云フコトハ、滿洲ノ治安ト云フ
上カラ考ヘマスルト、多少ノ考慮ヲシタイ、
斯ウ云フ問題ガ滿洲ノ治安ヲ維持スル方カ
ラ考ヘルト、出ルノハ當然ト考ヘマスガ、
併ナガラ滿洲ハドウモ朝鮮人ノサウ云フ質
ノ惡イ者ヲ入レルコトハ好マヌト云フ方
針ヲ執ルト云フコトハドウ云フモノデアラ
ウカ、内地ニ向ッテ色々ナ勞力ノ競争ニナ

ルヤウナ移入ガアツテモ、是ハ矢張陛下ノ同
一ノ赤子トシテ見ナケレバナラス、ソレト
同一ノ趣旨ニ於テ、滿洲方面ニ於テモ取締
ラナケレバナラスモノハ、取締ル方ガ宜シ
イノデアリマスケレドモ、鮮人ノ滿洲移入
ト云フモノニ付テハ、出來ルダケ寛大ニ之
ヲ許ス、許スデハナイ、導キ、サウシテ支
那人ノ安イ勞力、鮮人ノ勞力、日本人ノ資
本、企業、知識、組織、是等ノモノヲ結付ケ
テ、以テ滿洲ノ經濟開發ノ基礎ニスル、此
方針ハ早く定メル必要ガアルノデヤナイカ
ト思ヒマスガ、私ノ察スル所デハ、鮮人ノ
移入ヲ動モスレバ前申ス意味ニ於テ之ヲ喜
バヌト云フ風ガ、滿洲側ニアルヤウニ思ヒ
マスガ、拓務大臣ハソレヲドウ御考ニナッ
テ居リマスカ、其點ニ關スル拓務大臣ノ方針
ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、此三點デ
アリマス

○永井國務大臣

櫻井君ノ御質問ニナリマ
シタ第一點ハ、滿洲ノ最短距離ニ付テノ御
質問デアリマシタガ、將來ノ鐵道計畫ニ付
キマシテハ、只今申上ゲルコトガ出來兼ネ
ルノデアリマス、是ガ日本デ滿鐵ダケデ經
營スルト云フコトデアリマスレバ、比較的
單純デアリマスケレドモ、滿洲國ノ土地ニ
於テ建設サル、鐵道デアリマスノデ、今將

來ノ線ヲ豫定シテ其距離ヲ論ズルト云フコ
トハ、チョット申上ゲ兼ネルノデアリマス、
ソレデ先程高見君ガ御指定ニナリマシタ新
京ヲ中心トシテ御答ヲ申上ゲタ次第デアリ
マス、又第二點ハ羅津、大連、營口、其何
レニ重點ヲ置クカト云フコトハ、哈爾濱ヲ
中心トシテ大局ヲ見テ決スベキデハナイカ
ト云フ御意見デアリマシタガ、是モ大キナ
經濟政策カラ見マス、御尤ノ質問デアリ
マスガ、羅津モ、大連モ、營口モソレ々
其背後ニ大キナ「ヒンター・ランド」ヲ有ッ
テ居リマス、其「ヒンター・ランド」ノ開發
サル、ニ從ッテ、重要ナル役目ヲ果シ得ル
コトニナルト思ヒマス、今日政府ト致シマ
シテハ、其何レニ重キヲ置クカト云フヤウ
ナコトヲ申上ゲル狀態ニハナッテ居ナイノ
デアリマス、其三ツノ港ヲ共ニ出來ルダケ
活用シテ、滿洲ノ富源ノ開發ニ貢獻シタ
イ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第三
點ノ在滿鮮人ニ付テノ御心配ハ、私共モ洵
ニ同感デアリマシテ、出來ルダケ生活ノ安
定モ與ヘ、同時ニ思想ヲモ正導致シタイト
云フ考カラ、在滿鮮人ニ對シテハ特別ナ努
力ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、ソレデ差當リ
マシテ此度ノ滿洲事變ニ伴ウテ、從來自分
ノ開墾シテ居ッタ土地ヲ、匪賊ニ奪ハレテ

流浪シテ來タ鮮人ガ、約三萬人程居リマ
ス、是等ハ生活モ悲慘デアリ、之ヲ放ッテ
置ケバ生活ノ困難ナル所ニ、色々ナ惡思想
ノ感染ヲ受ケルト云フ危險モアリマスノ
デ、政府トシテハ先ヅ差當ッテ根據地ヲ奪
ハレテ流浪スル朝鮮人ヲ、救済スルト云フ
コトニ努力シナケレバナラスト考ヘマシ
テ、ソレ々ソレ等ノ者ニハ生活費ヲ給
シ、又原地ヘ復歸サセルコトノ出來ル者ニ
ハ、旅費ヲ與ヘマシテ復歸サセル方針ヲ
採ッテ居リマス同時ニ、別ニ安全農村ノ計
畫ヲ立テマシテ、其處デ日本政府ノ保護ノ
下ニ、新シイ安全ナ農村ヲ建設サセタイト
云フ考カラ、差當ッテ六百戸約三千人、其三
萬人ノ中ノ一割程ノ者ニ當リマスガ、其三
千人ノ者ヲ特殊ナ地域ニ收容致シマシテ、
ドウシテモ原地ニ復歸出來ナイ者ダケハ政
府ガ補助シ、必要ナル農具ヲ與ヘ、種ヲ與
ヘ、資金ノ融通ヲ圖リマシテ、安全農村ヲ
建設サセルト云フ計畫ヲ考ヘ付キマシテ、
其豫算ニ付テモ御協賛ヲ願ヒタイト思ッテ
居ルノデアリマス、追々此安全農村ノ計畫
ガ良クナッテ來マスレバ、ソレヲ在滿鮮人ニ
及ボシテ行ッテ、生活ノ安定ヲ與ヘルト同時
ニ、思想ヲ正導シテ行クト云フ方針ヲ、モッ
ト確實ニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデ

アリマス

○金光委員長

本日ノ質問ハ此程度ニ止メ
マシテ、次回ニ於テ繼續シタイト存ジマ
ス、次回ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本
日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時二十分散會